科目番号	50005	分類		履修者	高度実践看護コース（共通科目）	学年
科目名	研究特論 （Theory and Methodology on Research）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 前期

担当者	○手島恵　他６名	区分	必修	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
【概　要】 看護研究における初歩的な研究テーマの設定法、データ収集法、倫理上の配慮など、研究を進める上で必要な知識の理解を深める。また、研究成果を学会あるいは学術誌に発表するためのプレゼンテーションおよび論文作成に関する基本的な手法について修得する。 【目　標】 １）看護における研究の基本的な考え方と進め方を理解する。 ２）研究を進める上で必要な統計知識及び研究方法に関する知識を理解する。 ３）研究計画書を立案するプロセスおよび倫理上の必須事項を理解する。 ４）研究成果発表の能力を身につける。		1. クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力
		2. クリティカル領域における患者に必要な治療を実践できる能力
		3. 患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力
	○	4. 専門職としての倫理的意思決定能力
	○	5. 高度看護実践者として、教育的経営的な視点をもつトップマネジメント能力
	○	6. 臨床実践に潜む暗黙知を形式知へと創出する研究開発能力
		7. クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第１回	研究倫理と研究公正	手島 他６名
第２回	看護研究の基礎と研究の概念	
第３回	文献レビュー	
第４回	研究計画書の作成	
第５回	看護研究のためのデザイン１（量的研究）	
第６回	看護研究のためのデザイン２（質的研究）	
第７回	測定とデータ収集	
第８回	研究データの分析１（記述統計と量的データ）	
第９回	研究データの分析２（質的データ）	
第１０回	研究の目的と方法１（課題発表と討論）①質的研究	
第１１回	研究の目的と方法２（課題発表と討論）②調査研究	
第１２回	研究の目的と方法３（課題発表と討論）③実験研究	
第１３回	結果の解釈と考察	
第１４回	研究論文の構成と作成	
第１５回	学会発表におけるプレゼンテーション	

事前・事後学習	事前に参考図書で学習しておくことが望ましい。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	講義の出席、参加状況によって評価する。 フィードバックは適宜行う。
参考図書・資料等	◎１）D.F.ポーリット/ C.T.ベック 著、近藤潤子 訳：看護研究　原理と方法、医学書院 ２）グレッグ美鈴他：よくわかる質的研究の進め方、まとめ方 ―看護研究のエキスパートを目指して―．医歯薬出版 ◎は授業の必携図書ですので、購入していただきます。
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。